

## 令和元年度卒業式：式辞

卒業生のみなさん。卒業おめでとうございます。鵜沼第二小学校の全職員を代表して、心より祝福いたします。卒業を目前にして、突然の休校という、これまでにない経験をしたみなさんでしたが、今日、百十四名の全員が揃って、この日を迎えられることを本当に嬉しく思います。

みなさんは、「史上最高の最高学年」になる、という目標を掲げて、この一年を過ごしてきました。ちょっと意味合いは違いますが、今日、こうした形で、例年のない卒業の日を迎えることは、まさに史上初のことでないでしょうか。そういえば、去年の五月には、元号が平成から令和に代わるということもありましたよね。こうやって、少し見方を変えれば、君たちは「特別な年の、特別な卒業生」ということになるのです。

この、「見方を変えてみる」ということは、この先、生きていく上で、実はとても大事なことなのです。例えば、このひと月に、友達がそばにいてくれることのありがたさを感じた瞬間はありませんでしたか。また、一人で過ごす時間がたくさんあったおかげで、「ああ、あの時、こうしておけばよかったな。」と、自分のことをじっくり見つめ直してみたり、逆に「こんな中学生になりたいな。」という、夢や希望を大きく膨らませてみたりすることはなかったですか。周りの人は、「学校が休みになって、残念だったね。」「大変だったね。」と言うかもしれませんが、見方を変えてみると、「自分自身を一步前進させる、大事な時間だったよ。」と答えることもできるのです。

中学校では、新しい経験がたくさんできます。新たな友達も待っています。本当に、楽しみですね。でも、初めて経験するからこそ、戸惑うことやちょっと辛いなど感じることもあります。そんな時こそ、この「見方を変えてみる」ということを実行してください。きっと、それまで見えなかった道が拓けてくるはずです。この六年間、ボランティアや美しい歌声づくりなど、チーム鵜二で一生懸命取り組み、さらに、史上初の経験をした君たちなら、きっとできます。職員一同、それを固く信じています。自信を持って中学校に入学しましょう。

最後になりましたが、卒業生と本校のためにお力添えを賜りました御来賓のPTA会長様始め役員の皆様方、保護者の皆様に、改めて、厚くお礼を申し上げます。今後とも鵜沼第二小学校を温かく見守っていただきますようお願い申し上げます。皆さんの前途に幸多からんことをお祈りして、私の式辞といたします。

令和2年3月25日  
各務原市立鵜沼第二小学校長 山田高秀